



2021年度第2四半期 決算説明会資料

2021年11月4日

 **K LINE**
川崎汽船株式会社

目次

■ A. 2021年度第2四半期決算概要

- A-1 : 2021年度第2四半期業績
- A-2 : セグメント別第2四半期業績

■ B. 2021年度通期業績予想と取組み

- B-1 : 2021年度通期業績予想及び変動要素
- B-2 : セグメント別通期業績予想
- B-3 : 2021年度の改善ポイント

■ Appendix. インデックス等指標一覧

(市況・積高実績/前提、エクスポージャー比率)

A. 2021年度 第2四半期決算概要

A-1 : 2021年度第2四半期業績

■ 連結 決算概要

(億円)

売上高及び段階損益	2021年度			前年同期比		1Q公表比	
	1Q 実績	2Q 実績	上期 実績	上期 前年実績	増減額	上期 予想	増減額
売上高	1,747	1,828	3,576	3,001	575	3,400	175
営業損益	24	78	102	△ 102	204	90	12
経常損益	884	1,496	2,380	100	2,280	2,000	380
親会社株主に帰属する 当期純損益	1,020	1,440	2,460	96	2,364	2,140	321
為替レート(/\$)	¥109.80	¥109.99	¥109.90	¥106.82	¥3.07	¥108.33	¥1.57
燃料油価格(/MT)	\$479	\$514	\$497	\$353	\$144	\$503	△\$7

■ 主な財務指標

(億円)

指標	2021年度2Q末	2020年度末	増減額
自己資本	4,696	2,182	2,514
有利子負債	4,931	5,070	△ 139
現金及び現金同等物 期末残高	946	1,300	△ 354
DER	105%	232%	△127ポイント
NET DER	84%	172%	△88ポイント
自己資本比率	39%(*)	22%	16ポイント

*格付け機関より資本性評価50%を取得している劣後ローンを加味した場合、自己資本比率は42%相当

■ 主な変動要素

- ▶ ドライバルク及び自動車船事業を含む製品物流において
COVID-19感染拡大の影響からの回復を受け営業損益が改善
- ▶ 持分法適用会社OCEAN NETWORK EXPRESS PTE. LTD.
(ONE) の運営するコンテナ船事業において、旺盛な貨物需要
に伴い、市況も安定し経常損益、当期純損益が改善

A-2 : セグメント別第2四半期業績

■ セグメント別 第2四半期業績

(億円)

セグメント (上段：売上高) (下段：経常損益)	2021年度			前年同期比		1Q公表比	
	1Q 実績	2Q 実績	上期 実績	上期 前年実績	増減額	上期 予想	増減額
ドライバルク	597	719	1,316	880	436	1,250	66
	9	49	59	△ 93	151	70	△ 12
エネルギー資源	204	224	428	378	51	395	33
	9	△ 0	8	34	△ 26	15	△ 6
製品物流	919	861	1,780	1,617	162	1,700	79
	888	1,493	2,381	187	2,194	1,955	426
	107	102	209	213	△ 4	200	9
	877	1,478	2,355	215	2,140	1,925	429
うち、コンテナ船事業							
その他	28	24	52	125	△ 74	55	△ 3
	△ 1	△ 0	△ 1	6	△ 7	0	△ 1
本部・調整	-	-	-	-	-	-	-
	△ 21	△ 46	△ 67	△ 35	△ 32	△ 40	△ 27
合計	1,747	1,828	3,576	3,001	575	3,400	175
	884	1,496	2,380	100	2,280	2,000	380

■ セグメント別 主な変動ポイント

▶ ドライバルク

- 主要国の経済活動再開に伴う輸送需要の回復があり、市況は堅調に推移

▶ エネルギー資源

- VLCC(大型原油船)、LPG船、電力炭船及びLNG船において、中長期契約のもとで安定収益を確保

▶ 製品物流

- 自動車船事業において、半導体・部品供給不足の影響はあるものの、総じてCOVID-19感染拡大の影響の低減から荷量は回復基調が継続
- コンテナ船市況は、引き続き旺盛な貨物需要が継続し、高水準で推移

B. 2021年度 通期業績予想と取組み

B-1：2021年度通期業績予想及び変動要素

■ 連結 通期業績予想

(億円)

売上高及び段階損益	2021年度					2020年度		前年同期比		1Q公表比			
	1Q実績	2Q実績	上期実績	下期予想	通期予想	上期実績	通期実績	上期増減額	通期増減額	上期予想	通期予想	上期増減額	通期増減額
売上高	1,747	1,828	3,576	3,324	6,900	3,001	6,255	575	645	3,400	6,300	175	600
営業損益	24	78	102	48	150	△ 102	△ 213	204	363	90	40	12	110
経常損益	884	1,496	2,380	1,520	3,900	100	895	2,280	3,005	2,000	2,750	380	1,150
親会社株主に帰属する当期純損益	1,020	1,440	2,460	1,240	3,700	96	1,087	2,364	2,613	2,140	2,650	321	1,050
為替レート(\$)	¥109.80	¥109.99	¥109.90	¥106.15	¥108.02	¥106.82	¥105.79	¥3.07	¥2.24	¥108.33	¥106.67	¥1.57	¥1.36
燃料油価格(/MT)	\$479	\$514	\$497	\$537	\$517	\$353	\$363	\$144	\$154	\$503	\$455	△\$7	\$62

■ 通期業績 主な変動ポイント

- ▶ 営業利益はCOVID-19感染拡大の影響を受けたドライバルク事業・自動車船事業が回復し、2020年度比363億の改善で150億円を見込む
- ▶ 経常利益はコンテナ船市況が引き続き旺盛な貨物需要により堅調に推移し、3,900億円を見込む
- ▶ 上期に米国の物流事業会社CENTURY DISTRIBUTION SYSTEMS, INC. の保有株式売却により、特別利益を計上
- ▶ 下期に不採算船・事業の構造改革を予定

■ 前提

- ▶ 為替レート ¥108.02/\$
- ▶ 燃料油価格 \$517/MT
- ▶ 市況前提 Appendixご参照

■ 変動影響(3Q~4Q 6か月間)

- ▶ 為替レート変動* 1円変動 ±39億円
- ▶ 燃料油価格変動 10ドル変動 ±0.2億円

*今回よりONE社持分法損益に係る為替変動を含めています。

■ 配当

- ▶ 中間配当につきましては無配とさせていただきます。
- ▶ 期末配当につきましては復配の目処がついたものと判断されることから、1株当たり300円の期末配当を実施する方針といたしました。

B-2：セグメント別通期業績予想

■ 連結 通期業績予想

(億円)

セグメント (上段：売上高) (下段：経常損益)	2021年度					2020年度		前年同期比		1Q公表比			
	1Q 実績	2Q 実績	上期 実績	下期 予想	通期 予想	上期 実績	通期 実績	上期 増減額	通期 増減額	上期 予想	通期 予想	上期 増減額	通期 増減額
ドライバルク	597	719	1,316	1,174	2,490	880	1,820	436	670	1,250	2,230	66	260
	9	49	59	136	195	△ 93	△ 91	151	286	70	125	△ 12	70
エネルギー資源	204	224	428	392	820	378	776	51	44	395	740	33	80
	9	△ 0	8	27	35	34	11	△ 26	24	15	40	△ 6	△ 5
製品物流	919	861	1,780	1,711	3,490	1,617	3,397	162	94	1,700	3,220	79	270
	888	1,493	2,381	1,404	3,785	187	1,045	2,194	2,740	1,955	2,665	426	1,121
うち、コンテナ船事業	107	102	209	201	410	213	422	△ 4	△ 12	200	390	9	20
	877	1,478	2,355	1,340	3,695	215	1,038	2,140	2,657	1,925	2,590	429	1,104
その他	28	24	52	48	100	125	262	△ 74	△ 162	55	110	△ 3	△ 10
	△ 1	△ 0	△ 1	1	0	6	11	△ 7	△ 10	0	0	△ 1	0
本部・調整	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	△ 21	△ 46	△ 67	△ 48	△ 115	△ 35	△ 81	△ 32	△ 35	△ 40	△ 80	△ 27	△ 35
合計	1,747	1,828	3,576	3,325	6,900	3,001	6,255	575	645	3,400	6,300	175	600
	884	1,496	2,380	1,520	3,900	100	895	2,280	3,005	2,000	2,750	380	1,150

■ セグメント別 主な変動ポイント

▶ ドライバルク

- COVID-19感染拡大抑制政策により世界経済の回復基調が継続し原材料を中心としたバラ積貨物荷動きは堅調に推移。大型船では中国経済の鈍化影響は懸念されるが、全般的に港湾でのコロナ水際対策による滞船増加で船腹需給がタイト化し高レベルでの市況推移を見込む

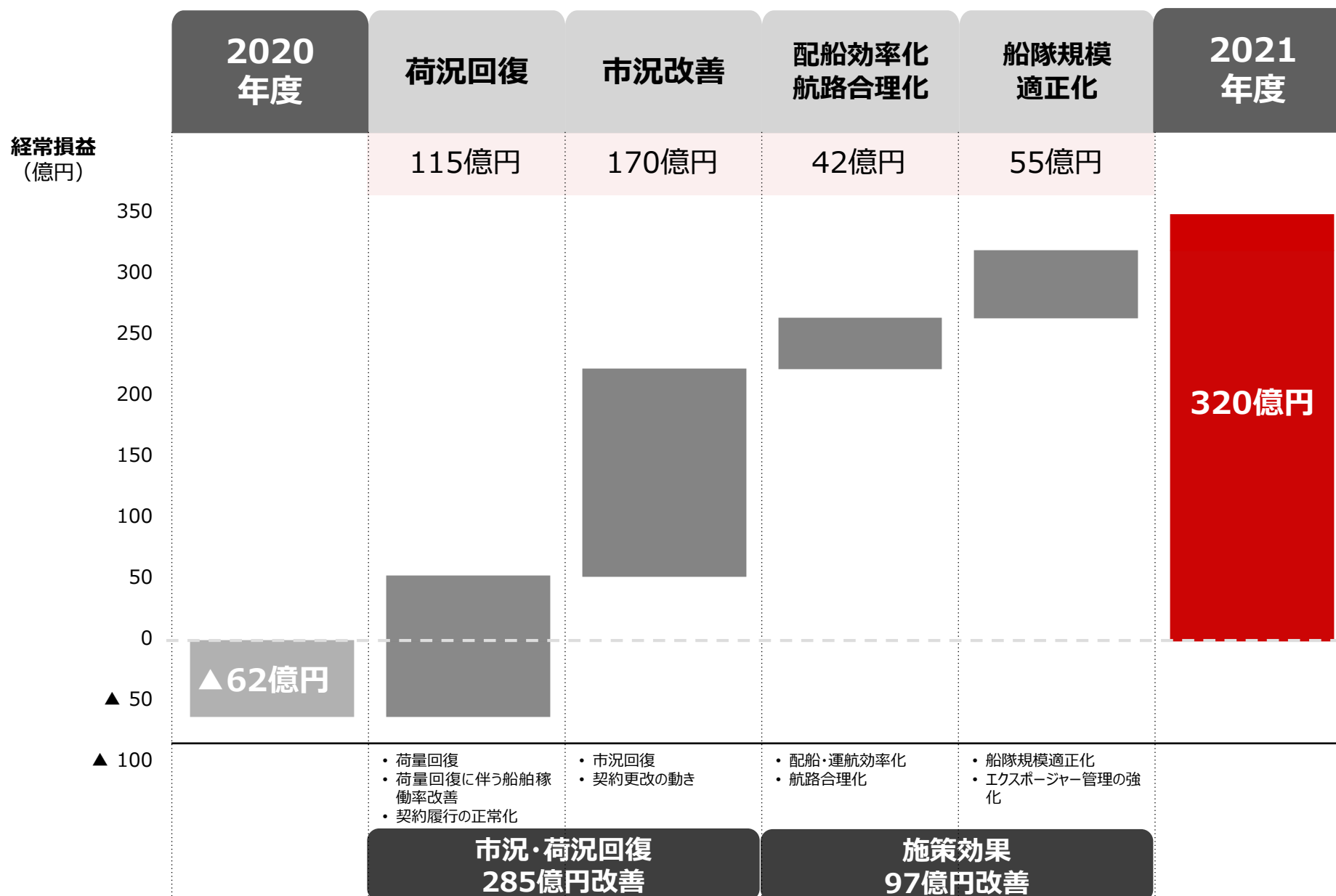
▶ エネルギー資源

- VLCC(大型原油船)、LPG船、電力炭船及びLNG船において、中長期契約のもとで安定収益の確保を見込む

▶ 製品物流

- 自動車船事業において、COVID-19感染拡大影響の低減から荷量は回復基調を継続。前年度の船隊規模適正化、航路網再編の取組みなどによる効果も現出
- 物流事業において、COVID-19感染拡大の影響から立ち戻り、2019年度並みの水準へ回復
- コンテナ船市況は、引き続き旺盛な貨物需要が継続するが、サプライチェーンの混乱は徐々に解消に向かう

B-3 : 2021年度自営事業セグメントの改善ポイント (2020年度比)



C. 株主還元について

C-1：株主還元について

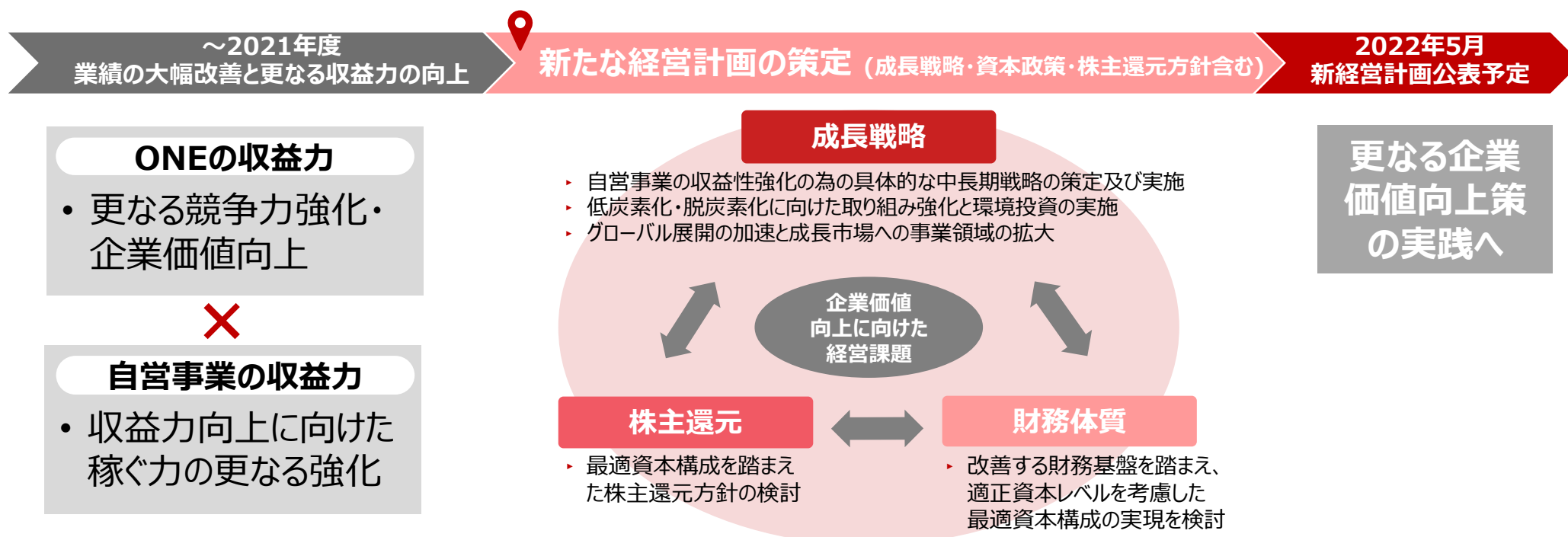
■ 2022年3月期(2021年度) 配当予想

- ▶ コンテナ船事業を中心とした大幅な増益並びに自営事業の収支改善により、財務体質の改善が進捗し、配当可能利益も創出されたことから、配当予想を修正いたします。
 - ・ 中間配当：(前回) 未定 → (今回) 無配
 - ・ 期末配当：(前回) 未定 → (今回) 1株当たり300円を実施予定※今後の利益動向によって、追加的な株主還元実施も検討。

■ 来期以降の株主還元について

- ▶ 新経営計画策定の中で最適資本構成を踏まえた株主還元方針の検討を進めています。

■ 企業価値向上へ向けた取り組みと新経営計画策定スケジュール



Appendix

市況実績・前提/エクスポージャー比率

■ ドライバルク市況実績・前提

ドライバルク市況	2020年度					2021年度				
	1Q実績	2Q実績	3Q実績	4Q実績	通期実績	1Q実績	2Q実績	3Q予想	4Q予想	通期予想
CAPE	\$9,950	\$20,750	\$16,950	\$17,150	\$16,300	\$31,100	\$42,400	\$43,350	\$20,000	\$34,200
PANAMAX	\$6,050	\$11,750	\$10,700	\$17,150	\$11,500	\$24,700	\$32,300	\$35,000	\$25,000	\$29,250
HANDYMAX	\$5,500	\$9,950	\$10,750	\$16,650	\$10,750	\$25,550	\$34,250	\$35,000	\$25,000	\$29,950
SMALL HANDY	\$3,250	\$7,150	\$9,200	\$14,650	\$8,600	\$22,500	\$32,200	\$30,000	\$15,000	\$24,950

*2021年度のSMALL HANDY市況をBHSHI-38に変更

■ 油槽船市況実績・前提

油槽船市況 (WS)	2020年度					2021年度				
	1Q実績	2Q実績	3Q実績	4Q実績	通期実績	1Q実績	2Q実績	3Q予想	4Q予想	通期予想
VLCC	94	35	29	33	47	33	33	49	51	42
(中東/日本)	\$107,850	\$19,750	\$10,900	\$5,750	\$36,050	\$4,850	\$2,750	\$18,100	\$20,000	\$11,450
AFRAMAX	119	69	54	73	79	84	91	123	138	109
(南方/日本)	\$26,350	\$9,650	\$4,650	\$2,650	\$10,850	\$5,000	\$5,650	\$15,350	\$20,500	\$11,650

■ 期末運航隻数規模

船型	2019年度末	2020年度末	2021年度 9月末
CAPE	93	86	92
中・小型船	92	88	87
チップ船	10	7	6
合計	195	181	185

船型	2019年度末	2020年度末	2021年度 9月末
VLCC	6	6	6
LPG船	5	4	4
他油槽船	6	6	5
電力炭船	29	26	34
LNG船	47	44	43
合計	93	86	92

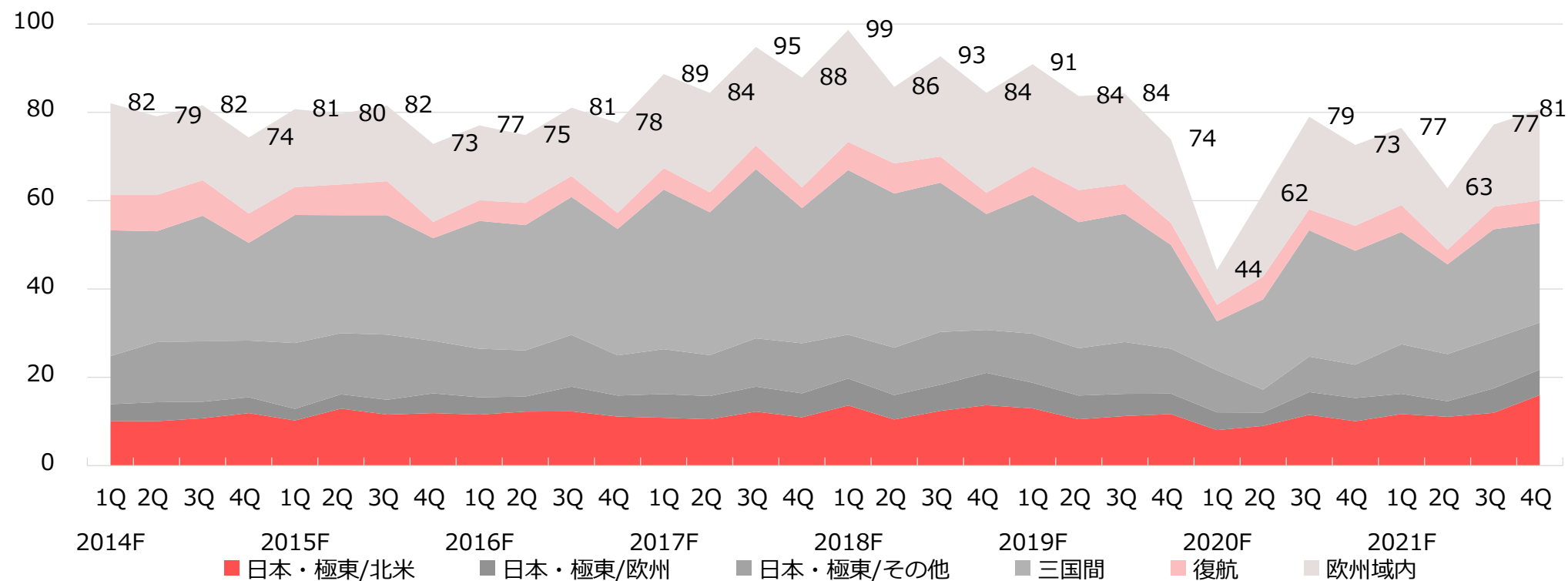
■ 2021年度：運航規模におけるエクスポージャー率

船型	エクスポージャー率
CAPE	6%
中・小型船	7%
チップ船	0%
VLCC	0%
LPG船	0%
他油槽船	80%
電力炭船	1%

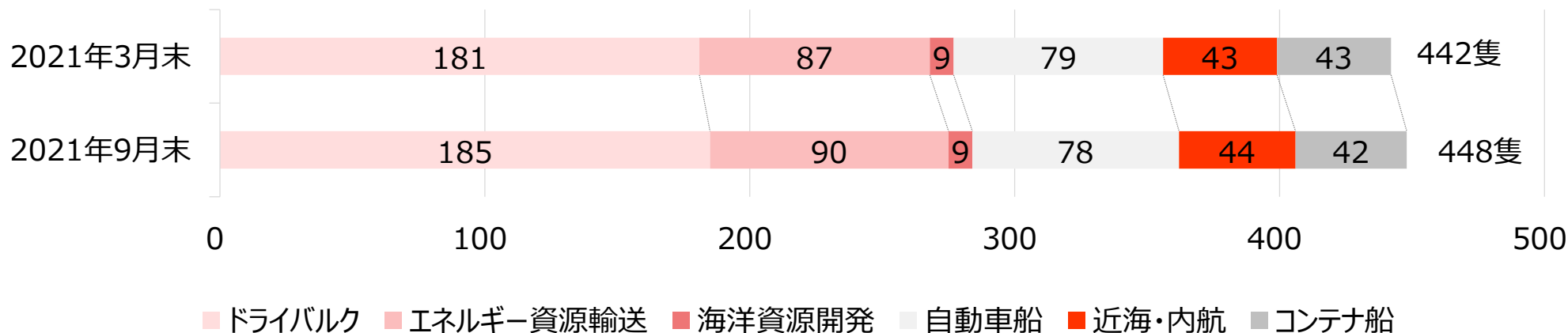
自動車船航路別積高実績・前提

輸送台数 (千台)	2020年度					2021年度				
	1Q実績	2Q実績	3Q実績	4Q実績	通期実績	1Q実績	2Q実績	3Q予想	4Q予想	通期予想
往航	215	172	247	228	862	275	252	287	324	1,138
復航	37	51	48	57	193	61	33	51	51	197
三国間	112	204	286	258	860	254	203	248	226	931
欧州域内	79	187	209	183	659	175	140	186	206	707
合計	443	615	790	726	2,575	765	629	772	807	2,973
船隊規模 (隻数)	84	76	75	79	79	81	80	80	80	80

(10,000 Units)



グループ船隊構成



船種	2021年9月末						2021年3月末	
	所有船		傭船		合計		合計	
	隻数	重量トン	隻数	重量トン	隻数	重量トン	隻数	重量トン
ドライバルク	52	6,290,705	133	17,590,776	185	23,881,481	181	23,087,036
電力炭船	7	616,440	25	2,234,587	32	2,851,027	27	2,418,614
LNG船	41	3,499,795	2	152,272	43	3,652,067	44	3,731,623
油槽船	10	1,604,618	5	776,679	15	2,381,297	16	2,496,362
オフショア支援船	6	29,186	0	-	6	29,186	6	29,186
海洋掘削船	1	-	0	-	1	-	1	-
FPSO	1	-	0	-	1	-	1	-
LNG燃料供給船	1	2,431	0	-	1	2,431	1	2,431
自動車船	32	427,444	46	857,777	78	1,285,221	79	1,296,617
近海・内航	26	236,943	18	238,900	44	475,843	43	471,923
コンテナ船	11	850,586	31	3,041,922	42	3,892,508	43	3,963,794
合計	188	13,558,148	260	24,892,913	448	38,451,061	442	37,497,586

* 所有船の隻数は共有船を含み、重量トン数は共有船の当該船舶における他社持分を含む

* 基幹船隊に加え、期末時点の短期・スポット傭船を含んだ隻数

グループ運航船舶/新造船竣工予定

■ グループ運航船舶

セグメント	事業部門・船種	2021年3月末	2021年9月末
ドライバルク	CAPE SIZE	82	88
	OVER PANAMAX	4	4
	PANAMAX	50	41
	HANDYMAX	31	38
	SMALL HANDY	7	8
	CHIP	7	6
	セグメント合計	181	185
エネルギー資源	原油タンカー/VLCC	6	6
	原油タンカー/AFRAMAX	3	2
	油槽船		
	ケミカル船	3	3
	LPG船	4	4
	合計	16	15
	LNG船	44	43
	電力炭船	27	32
	オフショア支援船	6	6
	海洋掘削船	1	1
	FPSO	1	1
	LNG燃料供給船	1	1
	セグメント合計	96	99
製品物流	自動車船		
	7,000台型	15	16
	6,000台型	37	37
	5,000台型	10	9
	4,000台型	1	1
	3,000台型	5	4
	2,000台型	4	4
	2,000台型未満	7	7
	合計	79	78
	コンテナ船		
	14,000TEU	12	12
	8,000TEU以上	13	13
	5,500TEU以上	6	5
	4,200TEU以上	7	7
	1,700TEU以上	5	5
	1,200TEU以上	0	0
	合計	43	42
	近海・内航船	43	44
	セグメント合計	165	164
総合計		442	448

■ 新造船竣工予定（年度別）

竣工隻数	2021	2022	2023
CAPE SIZE	1	1	2
OVER PANAMAX	2		1
HANDYMAX		1	
CHIP		1	
LPG船			1
LNG船		2	
FPSO			1
自動車船(7,000台)			1
近海・内航船	1		
合計	4	5	6

【免責事項】

本資料は投資判断の参考となる情報提供のみを目的とし、当社株式の購入や売却等を勧誘するものではありません。投資に関する決定は、投資家ご自身の判断において行われるようお願いいたします。

【見通しに関する注意事項】

本資料には将来についての予想や見通しが含まれておりますが、これらは当社が現時点で入手可能な情報に基づいており、経済動向、海運業界需給、燃料価格、為替相場等の動向により変動することをご了承下さい。

